

平井 亮大

節目にあたって

僕は、当たり前のように毎日を過ごしている。当たり前のように食事をし、学校で勉強し、毎日寝て起きてを繰り返している。この当たり前の毎日を過ごしている自分を「当たり前」と感じていることを恥ずかしく思う。

節目にあたって、僕は時間を無駄にしないことを決意した。自分がやるべきことや、自分の興味があることをして、一秒も無駄にしないようにしたい。一日、一日を大切に生きていきたい。「早く明日にならないかな。」とは考えず、この一瞬を大切に生きていきたい。そうすればきっと毎日が充実したものになるはずだ。

「あの」地震から一年が経つ。「当たり前」の日常を奪われてしまった多くの人々。悲しみ、悔しさ、言葉にはできない思いがあると思われる。僕が住んでいる町では、地震の被害はなかった。この文章を書いている、いかに自分が「当たり前」の幸せを授かっているかということを感じた。

始業式で校長先生が「自己への挑戦と他への貢献」という話をされた。僕が目の中のことにしっかり挑戦することで、将来、熊本県に貢献することができると思う。春、気持ち新たに前進していきたい。